

WORKSTATION TIMES

January, 2018 vol.19

「第4回 中国語技能コンテスト」が開催されました。

12月16日（日）、外国語教育センター主催による「第4回中国語技能コンテスト」が開催されました。スピーチ、朗読、演劇の3つの部門から構成され、スピーチ部門7名、朗読部門9名、演劇部7名が参加しました。また、教職員併せて約100名が出席しました。スピーチでは自身の思いを、朗読では中国文化に関する文章を、演劇では笑いを交えながら2つの寸劇を披露しました。各発表者は日頃の学習の成果を十分に発揮できたと思います。



朗読



法文学部1年の澤村裕大です。朗読で賞をいただきました。聞き手に伝わるように感情をこめて読みました！



言語文化学科1回生の安田柔です。賞をいただけてすごく光栄なのですが、練習を通して、先生や留学生の方と話す機会が増えたことが何よりうれしいです。

演劇：矛盾



王二爷・张果老役を演じました法文学部2年の岡村泰成です。中国語で劇を演じることで、普段の中国語の授業でテキストを読んでいるだけの学習では身につかない、より実用的な表現を学ぶことができました。

スピーチ



第1位：福尾静花さん（法文・2年）



自分が育った地元の景色が皆さんにも思い浮かぶように発音や顔の表情などを工夫しました。中国語で「自分」を表現できるよう、さらに頑張りたいと思います。

第2位：三歩一さなさん（法文・1年）

私は、旗袍（中国の伝統衣装）についての考えをスピーチしました。人前に出て話すのが苦手でしたが、自分の大好きな文化を大好きな言語で表現し、皆さんに伝えられたことをうれしく思います。



「日中大学生餃子会」が行われました。

2018年11月17日（土）、松江国際交流センターにて、「日中大学生交流会」を行いました。日本人学生と中国からの留学生、合わせて約20名が参加し、中国の餃子作りを体験しました。皮から手作りで、具材も調理法も日本とは異なりますが、非常においしい餃子が完成しました！また、イベントを通して日中大学生の交流を深めることもできました。



島根の「誇り」を英語で紹介 “Love. Local. Shimane.” 開催!



12月5日(水) “Love. Local. Shimane.” と題したイベントを開催し、留学生や教職員を含め79名が参加しました。学生が地元の企業や店舗を訪れ、インタビューや情報収集を行い、それを英語でプレゼンテーションするという取組で、陶器、出雲そば、勾玉など、文字通り「ローカル色」のある発表となりました。発表の合間には、島根県に関するクイズ大会で、大いに盛り上がりました。地元産の食材から作られた軽食も楽しみました。参加者は、地元の「誇り」となる産業や製品についての知識を深め、地域への「愛」が芽生えるイベントとなりました。



留学生と日本人の交流イベント「知らないと後悔する世界の言葉」

12月10日(月) 外国語教育センターワークステーションにおいて、「知らないと後悔する 世界の言葉」を開催しました。このイベントでは、留学生が自分の母国語の単語から、日本語に翻訳できない言葉を紹介しました。日本語にすると面白い言い回しになるもの、言葉の裏に意外な意味があるものなど、とても勉強になりました。留学生は一生懸命日本語で説明をしてくれました。留学生や一般の方々、教職員を含め45名が参加し、賑やかなイベントでした。



ポスターも留学生が描きました! ↓↓



留学生との交流イベント「たこやき交流会」の様子

2018年11月27日(火)、ワークステーションにて「たこやき交流会」を行いました。日本人学生と留学生、約20名が参加しました。留学生の中には、「たこやきは食べたことがあるけど作るのは初めて」という学生も多く、日本の食文化である「たこやき」作りを通して交流を深めました。英語や日本語、中国語などさまざまな言語が飛び交い、楽しい雰囲気でのイベントとなりました。



【わたしの先生】韓国・朝鮮語 林河運先生

여러분 안녕하세요? (ヨロブン アンヨンハセヨ・みなさんこんにちは。)韓国朝鮮語を担当している林 河運(임 하운: イム・ハウン)と言います。韓国の釜山の出身です。日本は日本海と縁があるようで、新潟で約8年、松江で9年です。そのうち、松江には2009年9月に来てもう9年以上の歳月が経ち、第2の故郷になりつつあります。また、海の幸、山の幸も豊富で、尚且つ夕日が綺麗な松江が大好きになりました。



<教育>

- ①受け身で聞いているだけの学生から知的好奇心を呼び起こし、学びへの意欲を高める、つまり主体的な学びとなるような教育実践を目指しています。
- ②他者との相互作用の機会を数多く与えるようしています(知識がより深化できると考えています)。また、共通した目標を設定し、学習者同士の連帯感を生み出すように工夫をしています。

<研究> 韓国語教育の質の確保・向上のための研究をしています。

- ①学習者の学びの格差を小さくしつつ足りない学修時間の確保に向けて：モバイル端末を活用した対面授業と反転授業を融合したブレンディッド・ラーニングのコンテンツのさらなる確保とともにシステム構築を目指しています。
- ②学生と教員間の双方向性の授業展開の工夫：学習者に一番言われるのが、「質問できる環境がほしい」、「じっくり丁寧に教えてほしい」です。現在はシート形式でおこなっていますが、今後、シート形式ではなくオンライン上でのプラットフォームを提供する必要があると考えており、プラットフォームの構築を目指したいです。
- ③体験学習を取り入れた授業のデザイン：貴重な異文化実体験と異文化学習をすることによって、自文化と異文化との類似点や相違点などに気付くこととなり、自ら学ぼうとする知的好奇心が旺盛になり、主体的な学びにつながると考えています。

最後に、韓国や韓国語、韓国文化や社会、K-POPやアイドル、韓国旅行の情報など、何でも構わないので気になる点ありましたら遠慮なく声をかけてください。

언제든지 웰컴입니다. 궁금한 점 있으면 사양 말고 찾아주세요. (オンジェドンジ ウェルカムイムニダ. グングマン ジョム イッスミョン サヤンマルゴ チャジャオセヨ・いつでも歓迎します。わからないところがあれば遠慮なく聞いてください)